



校長あいさつ

本校は、平成21年4月に就労を目指す高等部単独の特別支援学校として開校し、今年で17年目となりました。創立以来、多くの卒業生が一般企業に就職し、県内を中心に社会人として活躍しています。これもひとえに地域や労働機関、福祉機関等、多くの方々のお支えのお陰と深く感謝申し上げます。

これからも「自立」と「貢献」の校訓のもと、教職員一丸となり、生徒一人一人の可能性を広げ、人間性豊かな社会人の育成を目指していきます。その上で、目まぐるしく変化していく社会情勢を踏まえ、本校のミッションである「就労による社会自立」を達成すべく、努力してまいります。引き続き、本校へのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 金井敏美

令和7年度の具体的な学校経営目標

- (1) 各教科等、職業コースでの学習活動、学習評価の再構成を行い、授業を改善する。
 - ・ 生徒自身の自己理解の促進、主体的活動の積極的生起、他者理解と社会の一員としての自覚ある行動推進のために、各指導場面において、支援の在り方や指導方法に関する見直しを進め、創意工夫のある学習展開ができるよう、積極的な授業改善を行う。
 - ア) 指導内容の再選択 イ) 学習活動・授業展開の工夫 ウ) 支援の見直し
 - エ) 教員間の情報交換 オ) 学習評価の再検討
- (2) 自立活動「個別取り出し型」の指導を行う。
 - ・ 知的障害のある生徒の自立活動の指導について積極的に進める。
 - ア) 個別的な対応の捉えなおし イ) 学年としての計画的な指導
 - ウ) 指導形態の検討・試行
- (3) ネットリテラシー指導力を高め、活用場面の拡大を図る。
 - ・ ネット社会での生活上のルールや消費生活での注意点等を具体的に学習し、生徒がリスク軽減を考慮した行動ができるようにする。
 - ・ 視聴覚機器が活用できる学習場面をさらに広げる（自宅学習、別室学習、遠隔学習、予習復習等の場で動画視聴等を手段とした課題提示、言葉による説明の省略等の効率的伝達等）。
- (4) 他機関と連携し、進路指導、職場開拓を進める取組を継続する。
 - ・ 様々な形態での外部機関との連携を図り、職場開拓を進める。
- (5) 働き方を考える視点から、各学習活動の見直し等を進める。
 - ・ 業務負担軽減の視点から、様々な取組を行う。